

地なり伊勢居地村に程中よりして玉泉老
当而より位也

玉泉のハ仙水の方にて中尾飛國の領に
戸無徳なり大沢に秋田領善屋の色なり
川田にハ筆子のおきて新庄のの徳也

一 天啓録

或人十二黨の同大井又部といふ人吾佐
より一証なりといふとも吾佐を志した天
正年中ハ小女川版領より山本宗佐の家
元ハ小女川濃氣版よりてあゆ

見一書に山も部もやあとの記

又天海文法集

神の海をハ重恒法くも震り神

とありあのうハ当而ハ山本よりして吾佐く
花の葉も余よりて進言をいふも
天海文法集ハ有て小女川版領よりけ
人宗佐のつぎよりして昨の下向を移れ
由ハ中尾の地の条下に記を或人の評ハ飽
海郡親善寺の館より小女川版（中尾）
より状ありそ文云